



小菊(露地栽培)

初期投資が少ないこと、また軽作業が多いことから、高齢者や女性でも取り組みやすい品目です。

J Aいわて平泉は、県内生産量の5割以上を占める、全国でも有数の小菊の産地です。

暗渠・明渠を施すことで転作田での栽培も可能です。



H28新規就農 池本葉津紀さん

必要な機械・施設

●ハウス(親株の育苗用)、動力噴霧器

【栽培スケジュール】

作型	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月					
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
8月咲き	△	→	○									□	■	□										▲	→		
9月咲き																	□	■	□							▲	→

△：挿し芽 ○：定植 □：収穫 ■：収穫最盛期 ▲：親株伏せ込み

切り花の需要期である、盆・彼岸を中心に作付けしましょう。

花・茎・葉すべてが商品となるため、収穫まで薬剤散布による防除をしましょう。

【栽培試算表】

露地栽培 10a



	初年度	2年目以降	備考
販売額	1,015,000円	1,015,000円	目標収量 29,000本/10a 単価 35円/本
経費	757,425円	542,625円	種苗代(10,000本)※1、肥料代、 農薬代、資材代、農具代※2、出荷 経費
所得	257,575円	472,375円	

※1 2年目以降は自家育苗するため、種苗代はかかりません。

※2 農具代は動力噴霧器、支柱、フラワーネット償還7年の試算です。

「小菊を栽培してみたいけど、うまく作れるか心配…」そんな方の声に応えるために、JAいわて平泉花き部会では、関係機関とともに**栽培初心者を対象とした勉強会**を定期開催しています！！

ベテラン生産者が1から技術を教えてくれるので安心、周りも初心者だから気兼ねなく質問できる、等々、貴方のやる気をバックアップします。

この機会に小菊栽培を始めてみませんか♪



りんどう(露地栽培)

岩手県が全国一の生産量を誇る品目であり、盆、彼岸を中心に需要が見込める切り花です。

転作田に適した作物で、複数の品種を組み合わせることで、7月から10月まで長期出荷が可能です。

定植年の収入は得られませんが、宿根草なので、一度定植した後は4~5年間は栽培を続けられます。



必要な機械・施設

●動力噴霧器

【栽培スケジュール】

作型	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
定植年								○																		→
極早生種 (2年目以降)	→	▲								□	■	□														
早生種 (2年目以降)			→		▲								□	■	□											
晩生種 (2年目以降)				→	▲												□	■	□							

○：定植 ▲：株仕立て □：収穫 ■：収穫最盛期

切り花の需要期である、盆・彼岸を中心に作付けしましょう。

花・茎・葉すべてが商品となるため、収穫まで薬剤散布による防除をしましょう。

【栽培試算表】

露地栽培 10a

	定植年	2年目	3年目以降	備考
販売額	—	400,000円	1,400,000円	目標収量 定植年：採花なし 2年目：10,000本/10a 3年目：35,000本/10a 単価 40円/本
経費	503,000円	298,571円	695,000円	種苗代(8,000本)※1、肥料代、農薬代、資材代、農具代
所得	-503,000円	101,429円	705,000円	※2、出荷経費

※1 種苗代がかかるのは、定植年のみです。

※2 農具代は動力噴霧器、アーチ支柱、フラワーネット償還7年の試算です。